

# ユニセフ 東日本大震災緊急募金

3月11日に発生したマグニチュード9.0を記録する大地震は東北地方を中心に甚大な被害をもたらしています。日本ユニセフ協会は、ユニセフ(国連児童基金)と協力して、今回の地震で被災した子どもたちとその家族のための緊急支援を開始しました。



緊急避難センターで給水の順番を待つ女の子と家族  
(福島県・郡山市)



©UNICEF/NYHQ2011-0430/Dean

**「東日本大震災緊急募金」にご協力をお願いいたします。**

公益財団法人 日本ユニセフ協会 (ユニセフ日本委員会)

〒108-8607 東京都港区高輪4-6-12 ユニセフハウス

フリーダイヤル

ハハトコニ

0120-881052 <http://www.unicef.or.jp>

unicef 

ユニセフのアンソニー・レーク事務局長は、3月13日深夜、声明を発表し、日本の人々がこれまで世界の子もたちのために行ってきた長年の支援に対して改めて感謝を述べた上で、ユニセフは東日本大震災で被災した子どもたちやその家族を支援するため、教育や保健をはじめとする広範な分野での緊急支援や、子どもの保護や心のケアなど専門的な知識を要する分野への支援を提供したいと日本政府に対し正式に表明しました。

大規模な自然災害の被災地で最も弱い立場に置かれ、辛い思いをするのは子どもたちです。今回の大震災で、多くの尊い命が奪われただけでなく、多くの子どもたちが家族や親しい友人と離れ離れになり、地震や津波の恐ろしい体験をして心に深い傷を負っています。

日本ユニセフ協会は、ユニセフ本部や東京事務所、支援団体・企業と協力しながら、被災地の子どもたちを守り、必要とされる支援を提供していきます。



©UNICEF/NYHQ2011-0427/Dean

津波によって倒壊した家の前に立ちすくむ女の子  
(岩手県・陸前高田市)



©UNICEF/NYHQ2011-0429/Dean

避難所の壁に貼られた  
伝言メモを確認する女性  
(岩手県・陸前高田市)

### 子どもの支援に関わる分野を中心に緊急支援活動を行います

- 水、紙おむつ、生理用品、使い捨てカイロ、玩具などの緊急支援物資の調達と現地への輸送
- 現地の団体・NGOなどと協力した支援物資の配布
- 子どもの保護や心理社会的ケアなど、専門的な知識を要する分野のスタッフを応援派遣
- 子どもたちの心のケアのための支援活動
- 被災地でも学校活動ができるようにするための支援 (文具の配布など)

皆様の温かいご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 東日本大震災緊急募金

郵便局(ゆうちょ銀行) 振替口座:00160-2-372895 口座名義:公益財団法人 日本ユニセフ協会

\*手数料はご負担くださいますようお願いいたします